

作成日：2021年1月20日

内視鏡切除後 pT1a-MM かつ脈管侵襲陰性の食道扁平上皮癌の長期予後に関する多施設共同後向き観察研究

1. 研究の対象

2008年～2015年までに広島大学病院にて、食道扁平上皮癌に対して内視鏡的切除（EMR または ESD）が行われ、内視鏡的切除後の病理組織学的評価において、pT1a-MM かつ脈管侵襲陰性と診断されている方。

2. 研究目的・方法

概要：内視鏡切除後 pT1a-MM かつ脈管侵襲陰性の食道扁平上皮癌患者の方は、内視鏡切除後に経過観察されることが多いのですが、中には経過観察中に再発を来す方もおられ、その正確な頻度についてはわかっておりません。

目的：内視鏡切除後 pT1a-MM かつ脈管侵襲陰性の食道扁平上皮癌の長期予後を明らかにすること。

方法：本研究は、広島大学に保管されている対象患者さんの診療情報(診療録、内視鏡画像・所見記録、手術記録、病理所見(プレパラートも含む))を収集し行われます。

研究実施期間：2021年1月25日 研究許可日～2022年12月08日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：診療録、内視鏡画像・所見記録、手術記録、病理所見(プレパラートも含む)等

4. 外部への試料・情報の提供

共同研究機関へのデータの提供は、個人情報削除し研究用番号を付した上で、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。個人情報と研究用番号を結ぶための対応表は、本院の個人情報管理者が保管・管理します。

5. 研究組織

国立がん研究センター東病院 矢野 友規

横浜市立大学 藤井 誠志

全国の JCOG 消化器内視鏡グループ参加病院 46 施設

ホームページ http://www.jcog.jp/basic/partner/group/mem_giesg.htm

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、
研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先:

岡 志郎 (おか しろ) 広島大学病院 消化器・代謝内科

〒734-0037 広島県広島市南区霞 1-2-3

Tel: 082-257-5538 Fax: 082-253-2930 Email: oka4683@hiroshima-u.ac.jp

田中 信治 (たなか しんじ) 広島大学病院 内視鏡診療科

〒734-0037 広島県広島市南区霞 1-2-3

Tel: 082-257-5538 Fax: 082-253-2930 Email: colon@hiroshima-u.ac.jp

研究代表者:

広島大学病院 内視鏡診療科 教授 田中 信治 (たなか しんじ)